

基礎腫瘍学

科目到達目標: 腫瘍の病理・病態、発癌機構、疫学、薬物治療の基本的事項を理解する

科目責任者(所属教室): 福田 (がんセンター)

連絡先: 大山賢治(がんセンター) 6292(がんセンター事務室)

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	授業開始(4/15)以前の授業			・資料・課題対応	がんの分子生物学総論	久郷 裕之	遺伝子機能工学部門	がんの分子生物学について概説できる	癌幹細胞、癌遺伝子、癌抑制遺伝子、細胞回転、MSI、エピジェネティクス、血管新生、アポトーシス、テロメラーゼ
2	授業開始(4/15)以前の授業			・他コマ内に圧縮	腫瘍総論 1	坂部 友彦	器官病理学	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる	癌腫、肉腫、異型、多形性、分化、異形成、上皮内癌
3	4/20(月)	4			抗腫瘍薬総論	陶山 久司	化学療法センター	抗腫瘍薬のメカニズムについて概説できる	代謝拮抗剤、アルキル化剤、分子標的薬、薬剤耐性、免疫チェックポイント阻害薬
4	4/27(月)	4		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	腫瘍総論 2	坂部 友彦	器官病理学	がんの疫学、内因及び環境要因について説明できる	職業癌、遺伝性腫瘍症候群、前癌病変、アスベスト、mesothelioma
5	5/7(木)	4		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	肝がんの腫瘍学	杉原 誉明	機能病態内科学	肝がんの診断と治療について概説できる	肝細胞癌、ウィルス発がん、RFA、TACE
6	5/11(月)	4		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	転移の分子機構	坂部 友彦	器官病理学	腫瘍の転移に関する分子機構を説明できる	細胞外マトリクス、EMT、リンパ行性、血行性、播種、MMP
7	5/18(月)	4		・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	胆膵癌の腫瘍学	斧山 巧	機能病態内科学	胆膵がんの診断と治療について概説できる	胆道癌、膵臓癌、ステント、胆膵内視鏡診療
8	5/25(月)	4			がん緩和医療	大山 賢治	がんセンター	がんの緩和医療について概説できる	緩和、在宅医療、疼痛管理
9	6/8(月)	4	322	・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	がんの予防・検診・診断	福田 哲也	がんセンター	がんの予防・検診・診断について概説できる	腫瘍マーカー、Helicobacter pylori、バイオマーカー
10	6/15(月)	4	322	・対面授業	泌尿器がんの腫瘍学	森實 修一	泌尿器科	泌尿器がんの診断と治療について概説できる	前立腺癌、腎癌、膀胱癌、ロボット手術、ホルモン療法
11	6/22(月)	4	322	・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	婦人科がんの腫瘍学	大石 徹郎	女性診療科群	婦人科がんの診断と治療について概説できる	子宮癌、卵巣癌、子宮頸癌ワクチン
12	6/29(月)	4	322	・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	乳がんの腫瘍学	鈴木 喜雅	乳腺外科	乳がんの診断と治療について概説できる	乳がん、センチネルリンパ節、抗HER2療法
13	7/6(月)	4	322	・パターン1遠隔授業(資料・課題学習)	肺がんの腫瘍学	矢内 正晶	化学療法センター	肺がんの診断と治療について概説できる	非小細胞肺癌、小細胞肺癌、分子標的治療
14	7/13(月)	4	322	・対面授業	消化管がんの腫瘍学1	藤原 義之	病態制御外科学	消化管がんの診断と治療について概説できる	胃癌、大腸癌、外科治療、化学療法
15	7/20(月)	4	322	・対面授業	消化管がんの腫瘍学2	山下 太郎	緩和ケアセンター	消化管がんの診断と治療について概説できる	炎症性発癌、食道癌、内視鏡診療

教育ブランドデザインとの関連: 2,3

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与方針との関連: 1,2

授業のレベル:

評価: 定期試験 100%

実務経験との関連: 無し

教科書: 無し